

～ひとりで悩んでいませんか？～

性犯罪・性暴力などで悩んでいる方は、少し勇気を出して、ご相談ください。

相談は無料です。秘密は必ず守ります。



犯罪被害者等支援シンボルマーク
「ギョっとちゃん」

○性犯罪・性暴力被害者支援相談窓口

相談窓口	所在地	電話番号	相談受付時間	支援内容
性暴力救援センター 日赤なごや なごみ	〒446-8650 名古屋市昭和区妙見町2-9 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院内	なごみ 052-835-0753 24時間ホットライン #8891(はやくワンストップ) (愛知県内からのみ通話可能)	24時間対応 年中無休	相談 緊急医療処置 同行支援など
ハートフルステーション・ あいち	〒491-8551 一宮市桜一丁目9-9 総合大雄会病院内	まもるよ ハート 0570-064-810 (愛知県内からのみ通話可能)	月～土 9:00～20:00 (日・祝・年末年始除く)	相談 緊急医療処置など
公益社団法人 被害者サポートセンター あいち	〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目 14-21	なやみゼロ 052-232-7830	月～金 10:00～16:00 (土・日・祝・年末年始除く)	相談 同行支援など

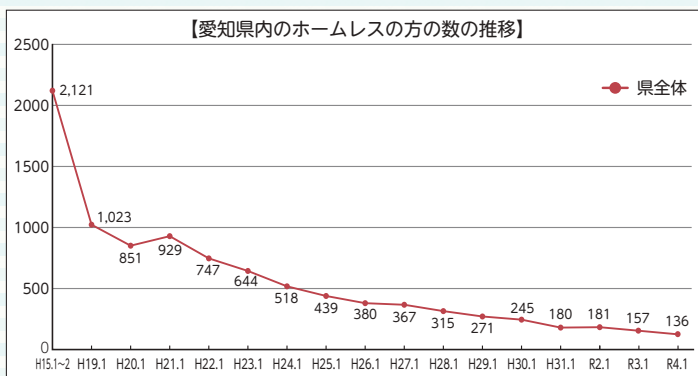
ホームレスの方への理解を深めましょう

～ どうしてホームレスになってしまうのか ～

愛知県内のホームレスの方の数は、2022年1月の調査で136人が確認されました。これは初めて全国調査が行われた2003年1月の調査の2,121人から1,985人の減少となっています。現在確認されているホームレスの方の多くは名古屋市など大都市圏に偏っている一方、いくつかの市町村でも、少数ですがホームレスの方が確認されています。

どうしてホームレスになってしまうのでしょうか？その生い立ちには、幼いときに家族を失ったり、病気やけが等により仕事を失ってしまったなどの背景がある場合もあります。そして、困難な状況になったとき、誰にも相談できないまま、社会から孤立してしまい、結果として住む場所までも失ってしまった場合があります。一度住む場所を失ってしまうと、再び元の生活を取り戻すには多くの問題を解決しなくてはなりません。

多くのホームレスの方は、各種の支援施策や生活保護などを活用し、住まいを確保し、ホームレスから抜け出すことができました。しかし、それだけでは、社会から孤立している状況に変わりありません。地域や社会の中で生活続けるためには、社会や人とのつながりを作っていくことが必要となります。



ホームレスという問題への理解を深めて、ホームレスの方を生まない社会にしていけるためには、私たち一人一人が考えていくことが大切ではないでしょうか。地域で生活する私たちもお互いに支え合い、助け合える関係にあることがとても大切です。

そのうえで、自分の中にある偏見と向き合い、誰もが暮らしやすい社会を目指して、私たちに何ができるかを考えていきましょう。

ヤングケアラーへの支援について

愛知県では、ヤングケアラーの実態を把握するため、2021年11月から今年2月にかけて実態調査を実施し、3月に結果を公表しました。県としては理解促進のためのシンポジウムや支援関係機関に向けた研修会等を開催するとともに、関係機関が連携する際のパイプ役となるコーディネーターを配置してまいります。また、調査結果を踏まえ、市町村や学校など関係機関と連携を密にしてヤングケアラーの支援に取り組んでまいります。

ケアを担う子どもを孤立させない社会を目指すため、県民のみなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

●「ヤングケアラー」とは●

例えれば...

法令上の定義はありませんが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どもとされています。

- ・学校に行っているはずの時間帯に自宅付近で見かける(欠席や遅刻が多い)
- ・家族の介助をしている姿をよく見かける 等

「大丈夫かな?」と感じるお子さんがいれば、まずはお声かけをお願いします。

【担当】 福祉局児童家庭課 子どもの権利擁護推進グループ
【連絡先】 052-954-7468 (ダイヤルイン)
【ホームページ】 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/jidoukatei/>

